平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 株式会社 プレステージ・インターナショナル　　上場取引所　東
コード番号 4290　URL http://www.prestigein.com/
代表者　(役職名) 代表取締役　(氏名) 玉上 進一
問合せ先責任者　(役職名) 取締役 財務経理担当　(氏名) 橋本 幹夫　TEL 03-5213-0220

四半期報告書提出予定日　平成26年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	16,212	△10.4	2,063	24.3	1,914	22.8	1,445	61.5
25年3月期第3四半期	18,092	5.8	1,660	△4.0	1,559	△14.0	894	△15.6

(注)包括利益　26年3月期第3四半期　1,674百万円　(46.4%)　25年3月期第3四半期　1,144百万円　(42.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	47.96	46.95
25年3月期第3四半期	30.19	30.09

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	17,572	12,916	73.1
25年3月期	15,854	11,256	70.7

(参考)自己資本　26年3月期第3四半期　12,848百万円　25年3月期　11,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	7.50	―	7.50	15.00
26年3月期	―	10.00	―		
26年3月期(予想)				5.00	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

1. 平成26年3月期(予想)期末配当金の内訳　普通配当　4円50銭　記念配当　50銭
2. 当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。そのため、26年3月期(予想)における期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	22,000	△9.2	2,700	13.4	2,750	27.4	2,050	45.4	67.98

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

当社は平成25年10月1日付で1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。そのため、平成26年3月期の連結業績予想における通期の1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
②①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	30,398,800 株	25年3月期	30,020,400 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	60 株	25年3月期	211,000 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	30,132,352 株	25年3月期3Q	29,641,455 株

当社は、平成25年10月1日付で1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数(自己株式を含む)及び期末自己株式数並びに期中平均株式数(四半期累計)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は平成26年1月31日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 5
２．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 8
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 9
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

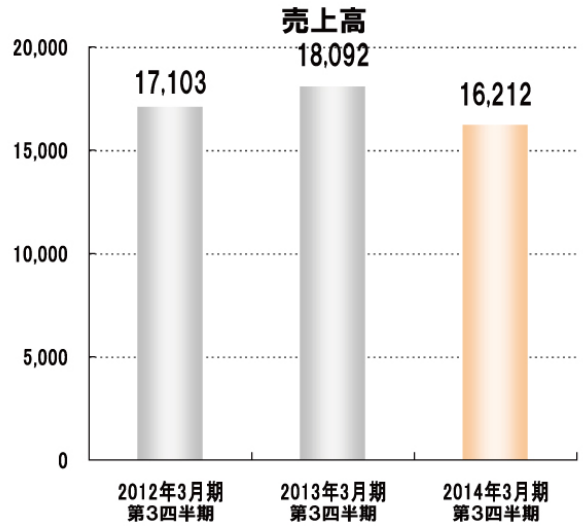
当第３四半期（平成25年４月１日～平成25年12月31日）における日本経済は、資源国・新興国の景気停滞が懸念されるなど先行き不透明な状況で推移したものの、政府による財政・金融政策を背景に、円高是正による企業業績や個人消費の改善など、緩やかな景気回復が続いております。

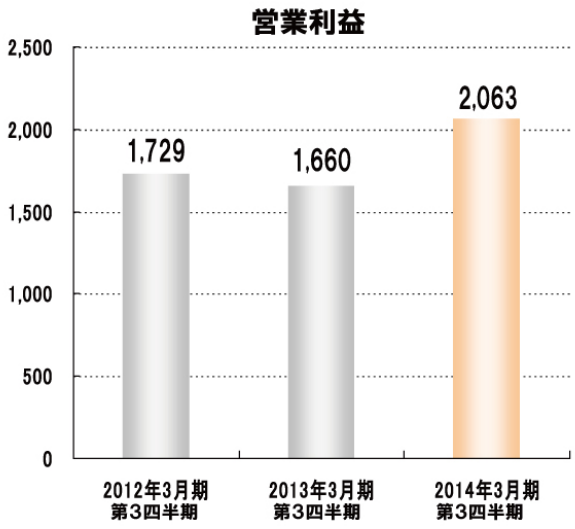
このような環境の下、グループ全体としましては、中期事業方針にのっとり、新たなるビジネスモデルと事業インフラの開発に注力してまいりました。営業活動においては、既存クライアントの深耕を軸にしつつ、新ビジネスモデル開発の具現化と注力分野の拡大に向けた新規クライアントの開拓を行ってまいりました。事業インフラの開発においては、秋田ＢＰＯキャンパスの補完センターの位置づけとして、平成25年11月に山形ＢＰＯガーデンを開設し、150名規模にて業務を開始いたしました。

しかしながら、ロードアシスト事業における一部業務の分離とインシュアランス事業における延長保証・メンテナンスプログラムの契約内容変更の影響などにより、当第３四半期の連結売上高は16,212百万円（前年同期比10.4%減）となりました。利益面におきましては、円安進行や原価抑制などへの取り組みが寄与し、営業利益は2,063百万円（前年同期比24.3%増）となりました。経常利益につきましては、グループ間の資金取引等の影響による為替差損などを営業外費用に計上したため、1,914百万円（前年同期比22.8%増）となりました。なお、当第３四半期純利益は、投資有価証券売却益を計上したことなどから、1,445百万円（前年同期比61.5%増）と大幅に増加しております。

	前第３四半期	当第３四半期		参考 前連結会計年度
売上高	18,092百万円	16,212百万円	（前年同期比10.4%減、1,880百万円減）	24,225百万円
営業利益	1,660百万円	2,063百万円	（前年同期比24.3%増、402百万円増）	2,380百万円
経常利益	1,559百万円	1,914百万円	（前年同期比22.8%増、354百万円増）	2,158百万円
四半期（当期）純利益	894百万円	1,445百万円	（前年同期比61.5%増、550百万円増）	1,409百万円
１株当たり当期純利益	30.19円	47.96円		47.55円

当社は平成25年10月１日付で１株につき２株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、１株当たり当期純利益を算定しております。





●ロードアシスト事業

損害保険会社や自動車メーカー向けにロードサービスを提供しているロードアシスト事業は、損害保険会社向けのサービスにおいて、認知度の向上及びサービス利用増加など既存受託業務は順調に拡大しましたが、前期より業務の一部が合弁会社である株式会社プライムアシスタンスに移行した影響により、減収となりました。

営業利益につきましては、サービス利用に伴う費用の抑制など原価管理の徹底を行うものの、主に株式会社プライムアシスタンスの影響により、減益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	7,283百万円	5,580百万円
営業利益	704百万円	585百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	－1,702百万円	－23.4％
営業利益	－119百万円	－16.9％

●インシュアランス事業

保険・保証に関する様々な付加価値ソリューションを提供しているインシュアランス事業は、延長保証・メンテナンスプログラムにおいて契約内容の変更を行った影響により、減収となりました。なお、この影響は売上高のみのものであり、利益ベースでの影響はありません。

営業利益につきましては、海外関連事業（クレームエージェントサービス、ヘルスケア・プログラム）が堅調に推移したことに加え、家賃保証プログラムの収益性向上と円安進行が追い風となり、増益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	5,570百万円	4,148百万円
営業利益	286百万円	450百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	－1,422百万円	－25.5％
営業利益	＋164百万円	＋57.5％

●CRM事業

国内・海外のコンタクトセンターを提供しているCRM事業は、海外において英国・米国の部門縮小を行いましたが、国内における既存受託業務の拡大と新規受託業務の獲得により、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大に加え、間接費用の抑制を行ったことなどから、増益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	2,081百万円	2,245百万円
営業利益	206百万円	310百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋164百万円	＋7.9％
営業利益	＋103百万円	＋50.0％

●カード事業

米国・香港・中国で、主に日本人駐在員向けにクレジットカード事業を展開しているカード事業は、事業が安定的に推移したことに加え、円安進行が寄与し、増収となりました。なお、カード会員数は、前年同期と比較し、全体的に微増となっております。

営業利益につきましては、原価管理の徹底や円安進行などが奏功し、増益となっております。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	1,187百万円	1,522百万円
営業利益	338百万円	462百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋335百万円	＋28.3％
営業利益	＋123百万円	＋36.6％

●プロパティアシスト事業

分譲・賃貸マンション・戸建ての占有部の一次修繕とコインパーキングのメンテナンスを提供するプロパティアシスト事業は、不動産向けサービス（ホームアシスト）ならびに駐車場管理会社向けサービス（パークアシスト）における既存受託業務の成長により、増収となりました。

営業利益につきましては、フィールドワーク専門子会社において拠点拡充や機能強化のための先行投資が発生したものの、売上高の拡大や費用の低減などにより、増益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	1,467百万円	1,875百万円
営業利益	74百万円	128百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋407百万円	＋27.8％
営業利益	＋53百万円	＋72.1％

●IT事業

IT事業におきましては、IT関連子会社において、既存受託業務が堅調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の増加に加え、費用の低減が奏功し、増益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	355百万円	389百万円
営業利益	30百万円	48百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋33百万円	＋9.6％
営業利益	＋18百万円	＋62.9％

●派遣・その他事業

派遣・その他事業におきましては、株式会社プライムアシスタンスに対する人材派遣業務が好調に推移し、増収となりました。

営業利益につきましては、売上高の拡大と間接費用の抑制により、増益となりました。

	前第３四半期	当第３四半期
売上高	147百万円	450百万円
営業利益	18百万円	76百万円
（増減）	（金額）	（率）
売上	＋302百万円	＋204.8％
営業利益	＋58百万円	＋306.0％

（２）財政状態に関する説明

〔財政状況〕

当第３四半期末における総資産は、17,572百万円となり前連結会計年度末と比べ1,718百万円増加となりました。流動資産は現金及び預金が148百万円増加、有価証券が315百万円増加、立替金が152百万円増加し、流動資産は690百万円増加いたしました。固定資産については、1,028百万円増加いたしました。

負債に関しましては、支払手形及び買掛金が306百万円減少、流動負債のその他が283百万円増加、資産除去債務が200百万円増加、固定負債のその他が111百万円減少となりました。これらにより負債合計では前連結会計年度末より59百万円増加し、4,656百万円となりました。

また、純資産については、配当支払いが平成25年６月及び12月に発生いたしましたが、四半期純利益が1,445百万円であったため前連結会計年度末に比べ1,659百万円増加しております。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,616,258	5,764,761
受取手形及び売掛金	2,471,032	2,537,976
有価証券	172,461	487,667
商品及び製品	8,910	10,847
原材料及び貯蔵品	4,080	7,644
立替金	2,164,902	2,317,349
その他	790,217	788,766
貸倒引当金	△73,059	△70,088
流動資産合計	11,154,804	11,844,922
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,505,894	2,862,235
その他（純額）	538,033	685,427
有形固定資産合計	2,043,927	3,547,663
無形固定資産		
その他	576,369	719,115
無形固定資産合計	576,369	719,115
投資その他の資産		
その他	2,148,681	1,511,391
貸倒引当金	△69,702	△50,858
投資その他の資産合計	2,078,978	1,460,532
固定資産合計	4,699,275	5,727,311
資産合計	15,854,080	17,572,234

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成25年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,272,618	965,982
短期借入金	161,850	100,000
未払法人税等	362,479	462,421
賞与引当金	259,965	212,924
その他	2,040,581	2,323,783
流動負債合計	4,097,495	4,065,112
固定負債		
長期借入金	4,600	－
退職給付引当金	74,110	81,201
資産除去債務	155,562	356,131
その他	265,319	153,702
固定負債合計	499,592	591,036
負債合計	4,597,088	4,656,148
純資産の部		
株主資本		
資本金	986,472	1,063,236
資本剰余金	548,435	632,118
利益剰余金	9,217,828	10,399,438
自己株式	△72,267	△41
株主資本合計	10,680,468	12,094,753
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	456,312	192,112
為替換算調整勘定	76,023	561,393
その他の包括利益累計額合計	532,336	753,505
新株予約権	4,129	10,485
少数株主持分	40,056	57,342
純資産合計	11,256,991	12,916,086
負債純資産合計	15,854,080	17,572,234

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
売上高	18,092,803	16,212,612
売上原価	14,789,884	12,407,508
売上総利益	3,302,918	3,805,103
販売費及び一般管理費	1,642,318	1,741,566
営業利益	1,660,600	2,063,537
営業外収益		
受取利息	3,126	4,247
有価証券利息	21,780	21,814
受取配当金	7,647	8,630
持分法による投資利益	－	6,370
その他	6,348	6,183
営業外収益合計	38,901	47,246
営業外費用		
支払利息	3,712	696
為替差損	42,818	171,996
持分法による投資損失	49,202	－
その他	44,236	23,575
営業外費用合計	139,969	196,268
経常利益	1,559,533	1,914,514
特別利益		
固定資産売却益	3,816	7,213
投資有価証券売却益	10,080	516,438
その他	251,800	1,206
特別利益合計	265,696	524,858
特別損失		
固定資産売却損	524	681
減損損失	5,271	－
固定資産圧縮損	251,800	1,206
違約金	2,972	1,942
特別損失合計	260,568	3,829
税金等調整前四半期純利益	1,564,661	2,435,543
法人税、住民税及び事業税	639,828	872,349
法人税等調整額	31,527	109,495
法人税等合計	671,356	981,845
少数株主損益調整前四半期純利益	893,304	1,453,698
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△1,499	8,465
四半期純利益	894,804	1,445,232

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	893,304	1,453,698
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51,797	△264,200
為替換算調整勘定	199,050	485,369
その他の包括利益合計	250,848	221,168
四半期包括利益	1,144,153	1,674,867
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,145,652	1,666,401
少数株主に係る四半期包括利益	△1,499	8,465

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。